

第 36 回 日本公民教育学会全国研究大会（筑波大会）のご案内  
（第二次案内）

大会テーマ：当事者意識を高める公民教育の在り方

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

第 36 回全国研究大会を開催させていただきます。本大会では、「当事者意識を高める公民教育の在り方」を大会テーマとして設定しました。当事者意識の視点より、これからの公民教育の在り方、公民授業づくりの方法について、多くの皆様と議論を深めたいと思います。

近年「当事者意識（オーナーシップ）」という言葉に注目が集まっています。学習指導要領改訂に向けた動きの中で「論点整理」（文部科学省中央教育審議会教育課程企画特別部会、2025）でも、「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、多様な他者と対話や合意を図る取組」という一文が記されました。児童生徒に学びのオーナーシップを感じさせることは、主体性を引き出すことへとつながり、公民教育に限らず、すべての教育活動で重視すべき観点です。

しかし、公民教育で扱う当事者意識には、この他にも重視すべき観点があります。それは「社会参加」です。現代社会は、急速なグローバル化、少子高齢化、ICT 化などの影響から、複雑な社会課題に直面しています。そのため、市民一人ひとりに、社会の構成員として自らの役割や責任を自覚して、社会課題の解決に主体的に関わる力が求められます。こうした状況下で、公民教育にも変革が求められます。単なる知識や概念の習得に留まらず、社会課題を自分事として捉え、対話や協働を通して課題解決に向けて社会参加していこうとする意識、そうした当事者意識を高める公民教育が今日必要とされているのです。子ども・若者を中心に社会参加意識の低さがたびたび指摘される中で、公民教育がこの変革にどう対応できるか、対応すべきか、多くの知恵と努力が必要とされます。「当事者意識を高める公民教育の在り方」について、理論や実践の両側面より議論を深め、これからの公民教育を、本大会を通して皆様とともに展望できれば幸いです。

多くのご参加の申し込みをいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2026 年 6 月吉日

日本公民教育学会長 桑原 敏典  
第 36 回全国研究大会実行委員会委員長 唐木 清志

記

1. 期 日 2026 年 6 月 28 日（日）
2. 会 場 筑波大学（茨城県つくば市天王台 1-1-1）
3. 主 催 日本公民教育学会
4. 後 援 茨城県教育委員会、つくば市教育委員会、筑波大学人間系
5. 日 程

8:30	9:00	11:30	12:30	13:15	13:30	14:15	14:30	16:30
受付	自由研究発表	理事会	総会		基調講演		課題研究発表	

《自由研究発表》 9:00～11:30

---

第1分科会 (2H101教室)

司会：小貫 篤 (埼玉大学) ・ 橋本 康弘 (福井大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
中学校社会科公民的分野における民事紛争解決学習の単元開発  
-裁判外紛争解決手続 (ADR) に着目して-  
池田 泰弘 (弘前大学)
- (2) 9:30～10:00  
日本における法教育の類型化と到達点に関する研究  
-主権者教育に向けた法教育の体系化に向けて-  
岡部 純一 (筑波大学大学院)
- (3) 10:00～10:30  
比較衡量に基づく思考を取り入れた小学校社会科における法教育教材の開発  
-第6学年 小単元『基本的人権の尊重-公共の福祉』を事例に-  
福永伸之介 (岡山大学教育科学研究科)
- (4) 10:30～11:00  
タイ社会科における法的紛争解決  
-「社会科・宗教・文化」教科書の分析を通して-  
小貫 篤 (埼玉大学)
- (5) 11:00～11:30  
法における国民を捉え直す社会科授業構成  
-無戸籍問題を事例として-  
宮本あゆは (福岡教育大学)
- 

第2分科会 (2H201教室)

司会：後藤 雅彦 (清和大学) ・ 堂徳 将人 (北海商科大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
なぜ政治教育は低調化したのか  
-社会科授業記録にみる実践文化の変質を踏まえ-  
後藤 雅彦 (清和大学)
- (2) 9:30～10:00  
親密圏での熟議を取り入れた小学校社会科政治学習の授業開発  
-第6学年政治単元を事例として-  
島 俊彦 (福岡市立七隈小学校)
- (3) 10:00～10:30  
デジタルメディアは生徒の市民性形成に何をもたらすのか  
-市民的アイデンティティの視点から-  
後藤慎太郎 (茨城県立水海道第一高等学校)
- (4) 10:30～11:00  
ドイツ歴史政治教育における「圧倒の禁止」の再定位  
-メディア経験と学習者の認識形成をめぐる議論をもとに-  
中山 智貴 (愛知県立春日井高等学校)
- (5) 11:00～11:30  
政策起業の視点を採り入れた「公共」の単元構成と授業実践  
小川 玲 (さいたま市立上大久保中学校)

---

第3分科会 (2A215教室)

司会：玄 在均 (愛知教育大学) ・ 加納 隆徳 (秋田大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
将来の投票意欲を高める学習活動の工夫  
-行動経済学の視点に着目して-  
高橋 克志 (宮代町立百間中学校)  
中台 正弘 (立正大学)
- (2) 9:30～10:00  
教員志望学生は「政治参加と選挙」において何を学習内容として構成しているのか  
-選挙制度シミュレーターを用いた学習内容への認識の再構成に着目して-  
加納 隆徳 (秋田大学)
- (3) 10:00～10:30  
社会科と教科外活動の連携による中学校主権者教育の開発研究  
-自らの意思決定の振り返りを重視した模擬投票を中心にして-  
黒川幸太郎 (岡山大学大学院)
- (4) 10:30～11:00  
社会参画への意識を高める主権者教育の実践  
-政権公約づくりと相互投票を通じた政治的リテラシーの深化-  
寺本 誠 (お茶の水女子大学附属中学校)

---

第4分科会 (2A303教室)

司会：田村 徳至 (信州大学) ・ 宮崎 三喜男 (専修大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
パーソナルファイナンスを起点とした社会科金融学習の授業方法論の検討  
-ジレンマ体験と価値調整の可視化を通して-  
大塚 雅之 (大阪府立三国丘高等学校)
- (2) 9:30～10:00  
排外主義に抗う社会の見方・考え方を育成する経済教育の試み  
阿部 哲久 (広島大学附属中・高等学校)
- (3) 10:00～10:30  
『保険』概念の捉え方のズレに関する実証的検討  
-教科書分析・教員アンケート・生徒アンケートの比較から-  
宮崎三喜男 (専修大学)
- (4) 10:30～11:00  
法と経済学の知見を活用した公民科教育の意義と展望  
-転売問題を事例とした市場経済の授業実践報告-  
堀口愛芽紗 (早稲田大学本庄高等学院/明治大学  
大学院)
- (5) 11:00～11:30  
小中学校社会科・高等学校公民科の政治・経済に関する課題における学習  
-当事者意識に基づく社会参画の視点による検討-  
保立 雅紀 (愛知教育大学)

---

第5分科会 (2A304教室)

司会：齊藤 仁一郎(横浜国立大学)・福田 喜彦(兵庫教育大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
米国におけるデジタル教材を活用した気候変動に関する学習方略  
-OERプロジェクトのClimate Projectをもとにして-  
福田 喜彦 (兵庫教育大学)
- (2) 9:30～10:00  
外部連携を通じた社会問題学習の授業に関する研究  
-エネルギー・環境問題を扱う授業について-  
土肥大次郎 (長崎大学)
- (3) 10:00～10:30  
地域連携・社会参画型社会科授業における当事者意識形成の実践的研究  
-小学校第4学年を対象とした外部講師との協働的フィードバックに着目して-  
森田幸一郎 (みよし市立三好丘小学校/名古屋市立大学大学院)
- (4) 10:30～11:00  
小学校社会科における人口減少社会に向けた市民性の育成  
-札幌市交通環境学習3年生の実践分析から-  
佐々木英明 (北海道文教大学)  
樋渡 剛志 (札幌市立山の手南小学校)
- (5) 11:00～11:30  
オープンデータを活用した対話型の授業実践の構築をめざして  
-RESASを活用した公民科の授業実践-  
加藤 敬之 (愛知県立旭丘高等学校)

---

第6分科会 (2A309教室)

司会：蓮見 二郎(九州大学)・真島 聖子(愛知教育大学/筑波大学大学院)

---

- (1) 9:00～9:30  
教科を超えた学びを通じて当事者意識の高まりを目指す授業実践の可能性  
-公民科と福祉科の連携の視点から-  
渥美 利文 (東京都立東久留米総合高等学校)
- (2) 9:30～10:00  
小学校社会科授業における存在としての主体性と応答責任の関係  
-第4学年「尾張七宝を支える人・もの・こと」の授業分析を通して-  
真島 聖子 (愛知教育大学/筑波大学大学院)  
水越 建太 (南山大学附属小学校)
- (3) 10:00～10:30  
高校3年生の政治意識と政治知識の関係について  
-政治的無関心の再考と当事者意識の不在-  
田中 智和 (上宮高等学校)
- (4) 10:30～11:00  
商業科「課題研究」における価値観構成型ジグソー法の連続的活用と当事者意識の形成  
-学習過程の検討：寿司チーム・GSチームの追跡調査を通して-  
神尾 陽一 (広島市立広島商業高等学校)
- (5) 11:00～11:30  
公民教育における神話の意義-当事者意識の形成に着目して-  
立花 美樹 (九州大学大学院)

---

第7分科会 (2A409教室)

司会：川口 広美 (広島大学) ・村井 大介 (静岡大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
小学校教師の専門性はよりよい地域社会の創造にいかにかされるのか？  
-元小学校教師の退職後の歩みを事例として-  
吉川 修史 (兵庫教育大学)
- (2) 9:30～10:00  
公民科教師の政治的自己開示に生徒は返報するのか  
-対話の可能性に関する事例研究-  
吉田純太郎 (宮城教育大学)
- (3) 10:00～10:30  
選挙期間中において教師は政治や選挙をどのように取り上げたか  
-若手・中堅の高校地歴科・公民科教師に対するインタビューを通して-  
岩崎 圭祐 (鹿児島大学)  
鈺 悠介 (環太平洋大学)  
井上 昌善 (愛媛大学)
- (4) 10:30～11:00  
高校生は何・誰を「国家」としているか  
-変わりにくい認識と変わりやすい認識-  
甄 卓榮 (筑波大学大学院)
- (5) 11:00～11:30  
教師は、市民性教育の調査結果をどのように解釈するか  
-調査研究と実践を接続させるための事例研究-  
小栗 優貴 (京都教育大学)  
橋崎 頼子 (奈良教育大学)  
川口 広美 (広島大学)  
大脇 和志 (宇都宮大学)  
井戸 浩太 (広島大学大学院)

---

第8分科会 (2A410教室)

司会：前田 輪音 (北海道教育大学) ・井上 奈穂 (鳴門教育大学)

---

- (1) 9:00～9:30  
公民科における探究活動の評価について  
-公共スキルアッププログラムでの実践を通して-  
井上 奈穂 (鳴門教育大学)
- (2) 9:30～10:00  
オーストラリアの初等・前期中等教育の終了段階における市民性教育の内容と達成度の変遷について  
-国家評価プログラム「公民とシティズンシップ」(NAP-CC)と評価指標の分析を通して-  
松井 克行 (西九州大学)
- (3) 10:00～10:30  
「個に応じた学び」に基づく社会科プログラムの開発と実践  
-「ストーリーパス」を事例として-  
早瀬 博典 (育英大学)
- (4) 10:30～11:00  
「長沼平和ツアー」にみられる「社会課題」とその教育的意義  
-「人間の本質規定」を軸に-  
前田 輪音 (北海道教育大学)

---

11:30～12:30 (2A306教室)

理事会 ※理事のみ

---

12:30～13:15 (2H201教室)

総会 ※会員のみ

---

《基調講演》 13:30～14:15

---

(2H201 教室)

「当事者とは誰かを問い直し、公民教育で育てる当事者意識と市民性を再構築する」

岡山大学 桑原 敏典 氏

趣旨：当事者意識を育てることは、公民教育だけではなく学校教育全体の目標としてもよく掲げられます。同様に、「自分事として考える」ということも目標とされることが多くなっています。しかし、授業においてなすべきことは、本当に、社会課題（問題）の当事者に成り代わって、あるいは代弁者となって社会に参加する人を育てることなのではないでしょうか。当事者意識を育てることが問題なのではなく、授業における当事者とは誰のことか、当事者としての社会参加とは何かということが問題なのではないでしょうか。

《課題研究発表》 14:30～16:30

---

(2A309 教室)

課題研究 1：多様性の理解を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：坪田 益美（東北学院大学）・中原 朋生（川崎医療福祉大学）

趣旨：「多様性の尊重」や「多文化共生」を促すための教育は、ややもすると、「他人ごと」にとどまり、その結果「きれいごと」に終始しがちです。本分科会では、「他人ごと」では終わらせず、「自分ごと」としてその困難さと必要性に向き合うよう促すための公民教育の在り方について検討します。

「意見」と「存在」の多様性を理解させる公民科授業の提案

-NIMBY問題としての女性や性的マイノリティに関わる課題に着目して-

斉藤 雄次（都留文科大学）

多様性理解を「他人ごと」にしない公民教育はいかに可能か

-SOGI・異性装・男性性をめぐる授業実践から-

菅野 真文（北海道函館中部高等学校）

ヘイトスピーチを「取り巻く」対話

-ロンパでも、コスパでも、タイパでもなく-

宮田 拓（岡山県立岡山操山高等学校）

(2A409 教室)

課題研究 2：論争問題の議論を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：中平 一義（東洋大学）・吉村 功太郎（宮崎大学）

趣旨：近年の学校教育において論争問題をどのように議論として扱うかは、当事者意識の育成という点で重要な課題です。論争問題を対話的に議論することは、社会問題を自分事として捉える契機となる一方、教員には安心して議論できる学習環境を整える役割が求められます。本研究では、公民教育におけるその在り方を理論と実践の両面から議論を深めます。

論争の対象と当事者になり得る自己との関連について考える小学校社会科授業構成  
-社会問題の解決を目的とした政策の議論に焦点をあてて-  
長川 智彦 (武庫川女子大学)

教師の外部人材観を相対化するフレームワークの開発  
-アクション・リサーチの類型に着目して-  
野寄 雄太 (北海道教育大学函館校)

教室内に“当事者”がいる論争問題を授業でいかに扱うべきか  
-多様な子どもの熟議参加をめざす「勇気ある教室 (brave classroom)」の構想-  
植原 督詞 (お茶の水女子大学)

## (2A410 教室)

### 課題研究3：地域課題への関与を通して当事者意識を高める公民教育の在り方

コーディネーター：井上 昌善 (愛媛大学)・真島 聖子 (愛知教育大学)

趣旨：本課題研究では、①当事者意識を高めた子どもの姿とは、②それを実現する授業実践とは、③今後の公民教育推進のために必要なことは、という問いに対して登壇者に提案をしていただきます。それを基に、地域課題への関与を通して当事者意識を高めるための授業開発の視点や方法について議論を深めます。

地域の公共的課題にどのように接続したのか  
-SOSEI学における地域課題への応答と阻害・停滞要因-  
神野 幸隆 (国士舘大学)

街が学び場になるとき、子どもは当事者になる  
-ULTLAプログラムとGod Handsプロジェクトの実践から見る公民的資質の醸成-  
福本 理恵 (株式会社SPACE)

子どもと地域をどのように結ぶか  
-日米の研究・実践からの考察-  
古田 雄一 (筑波大学)

## 6. 参加費 (納入方法は「8.」「9.」を参照)

事前納入 (参加費のみ) : 2,500 円

事前納入 (参加費、弁当・飲み物含む) : 3,500 円

当日納入 (参加費のみ) : 3,000 円

## 7. 今後の日程

大会参加申し込み・参加費事前納入締め切り 2026年6月12日(金)

大会当日 2026年6月28日(日)

## 8. 大会参加申し込み・参加費事前納入 締め切り：2026年6月12日（金）

- ・大会 HP（「12.」参照）にアクセスしていただき、「大会参加申し込みフォーム」に必要事項を入力し、送信してください。なお、郵送や電話での申し込みはできません。
- ・大会参加申し込みフォームの送信とともに、参加費事前納入（クレジット決済）を済ませてください。フォームの送信のみでは、参加申し込みは完了していません。なお、クレジットカード決済が難しい方は、大会メールアドレス（「12.」参照）宛に、ご連絡ください。
- ・参加費の事前納入（クレジット決済）による領収証の発行日は、決済日となります。この日付を、後から修正することはできませんし、領収証の再発行もいたしません。
- ・大会当日の参加申し込みは、大会会場受付でお願いします。参加費の納入は、現金のみです。ただし、大会当日の参加申し込みは、発表要旨集を確保することができないなど、不利益を被る可能性がありますので、できるだけ、事前の参加申し込みにご協力ください。
- ・弁当・飲み物の申し込みは、大会当日には行えません。

## 9. 昼食（弁当・飲み物）申し込み・昼食代事前納入 締め切り：2026年6月12日（金）

- ・大会参加申し込みの際に、昼食（弁当・飲み物）を申し込むとともに、参加費事前納入（クレジット決済）の際に参加費と昼食代（弁当・飲み物代）を一緒にお支払いください。

## 10. お問い合わせ

日本公民教育学会第36回全国研究大会（筑波大会）実行委員会

筑波大学人間系（教育学域）

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

大会メールアドレス：[jsce36.tsukuba.office@gmail.com](mailto:jsce36.tsukuba.office@gmail.com)

### 第36回日本公民教育学会全国研究大会（筑波大会）

ホームページのご案内



<内容> 大会のお知らせ、各種フォーム等を掲載しています。

<URL> <https://tinyurl.com/2026tsukuba>

## 11. 会場へのアクセス

筑波大学キャンパス案内 <https://www.tsukuba.ac.jp/access/>

会場：筑波大学・筑波キャンパス・中地区・第二エリア・2A及び2H棟

### 【筑波大学 交通アクセス案内】

#### 1. つくばエクスプレス (TX) をご利用の場合

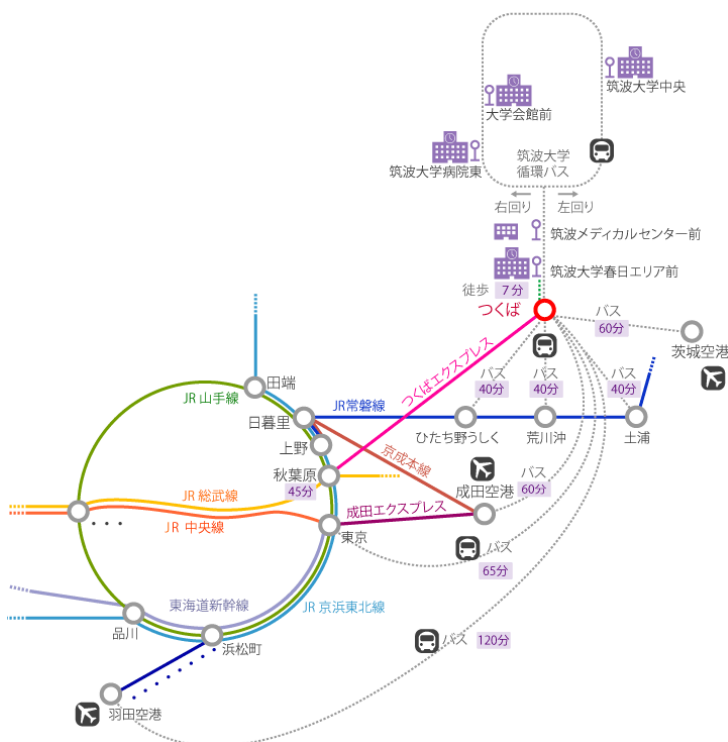
- ・「つくば駅」下車、隣接するバスターミナル「つくばセンター」を利用。
- ・6番乗り場より「筑波大学循環(右回り/左回り)」に乗車(約15~20分)。
- ・下車バス停：「筑波大学中央」

#### 2. JR各線をご利用の場合

- ・各駅から「つくばセンター」行きバスに乗り、6番乗り場で「筑波大学循環」に乗り換え。
- ・下車バス停：「筑波大学中央」

#### 3. お車でお越しの場合(常磐道利用)

- ・桜土浦I.C.下車、つくば方面へ左折。
- ・大角豆(ささぎ)交差点を右折。
- ・県道55号線(東大通り)を北に直進。
- ・「筑波大学中央」入口を左折(本部棟前まで約8km)。



### 【筑波大学 構内案内】

筑波キャンパスマップ PDF (中地区) [https://www.tsukuba.ac.jp/images/pdf/ut\\_map\\_tsukuba\\_naka.pdf](https://www.tsukuba.ac.jp/images/pdf/ut_map_tsukuba_naka.pdf)

